APFの算出基準が変更になりました。新しい「APF(2015)」の算出基準は、より実使用に近づいた値です。

APF算出条件

【APF(2006)】

規格		JRA4048:2006
地区		東京
建物用途		戸建て店舗
使用期間	冷房	5月23日～10月10日
	暖房	11月21日～4月11日
使用時間		8:00～21:00

(注)machiマルチのAPF算出条件は上記と異なります。

【APF(2015)】

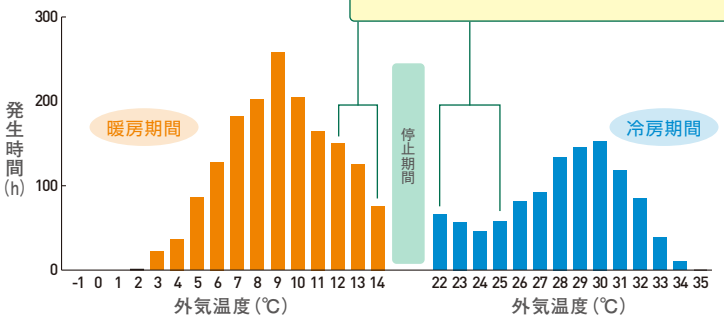
規格		JIS B8616:2015
地区		東京
建物用途		戸建て店舗
使用期間	冷房	5月7日～10月17日
	暖房	11月17日～4月3日
使用時間		8:00～21:00

(注)machiマルチのAPF算出条件は上記と異なります。

APF(2015)算出期間

■ APF(2015)算出のための外気温発生時間(東京地区・戸建て店舗)

より実使用に近づけるため、低能力で冷暖房ができる外気温にも注目!!



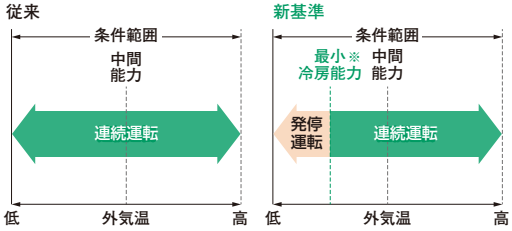
APF(2015)算出方法

■ APF(2015)算出の評価点

従来	新たに追加
1 定格冷房能力	6 中間冷房能力(中温)
2 定格暖房能力	7 最小冷房能力(中温)
3 低温暖房能力	8 最小暖房能力
4 中間冷房能力(標準)	
5 中間暖房能力	

冷暖房の最小能力が追加され、より実使用に近づいた基準に変更になります

〈冷房時のイメージ〉



インバーターエアコンも低負荷時には発停運転を行いますが、従来のAPF(2006)算出方法では全体を連続運転と見なしていました。APF(2015)基準では、この発停も勘案した、より厳密な算出方法に変わります。

※最小能力を称呼していない機種は、中間能力以下が発停運転と見なされます。

業務用エアコンは2015年4月以降、より省エネ性能の高いトップランナー基準※1が適用されました。

2010年省エネ法改正に伴い、業務用エアコンについても2015年度達成目標値(トップランナー基準値)が設定されました。これに対応し、各製造事業者はより省エネ性能の高い製品の開発により、2015年4月以降の出荷分より加重平均で目標基準値の達成が義務付けられています。

製造事業者に課せられる規制内容

①目標年度(2015年度)以降に、規制対象における区分毎の出荷台数を加重して調和平均した値が目標基準値(下表)を下回らないこと。
②性能並びに製品に関する情報をカタログ、製品パッケージ(取扱説明書)等に表示すること。

※1 JRA4048:2006に基づく値

業務用エアコン2015年トップランナー基準値(APF(2006)値※1)

製品区分＼形式		40	45	50	56	63	80	112	140	160	224	280	335	400	450	500	504
店舗用	4方向天カセ	6.0	5.9	5.9	5.8	5.8	5.7	6.0	5.7	5.5	5.1	4.8	—	—	—	—	—
	上記以外	5.1	5.0	5.0	4.9	4.9	4.8	5.1	4.8	4.7	4.3	4.0	—	—	—	—	—
業務用マルチエアコン		—	—	—	—	—	5.7	5.5	5.2	5.0	5.5	5.1	4.8	4.8	4.6	4.4	4.3
設備用	床置直吹形	—	—	—	—	—	—	—	4.9	—	4.9	4.9	—	—	—	—	—
	床置ダクト形	—	—	—	—	—	—	—	4.7	—	4.7	4.7	—	—	—	—	—

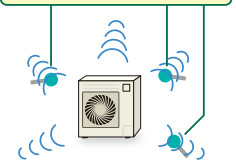
運転音の表示が、従来の「音圧レベル」(Sound Pressure Level)から「音響パワーレベル」(Sound Power Level)に変更されました。

(JIS B8616:2015による)

従来の「音圧レベル」

音源から発生した音の「ある1点」における音の大きさ(音圧)を基にした量です。従来の「運転音=音圧レベル」は、JIS B 8616:2006で規定された測定点における値です。実際は音源から発生する運転音が同じでも、音源との距離や方向などの位置関係によっても変化します。

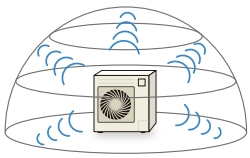
測定する位置(音源との距離や方向)によって音圧レベル(騒音レベル)が異なる



新基準の「音響パワーレベル」

音源が発する音響エネルギーの大きさを基にした量です。音響パワーレベルは音源との距離や方向などの位置関係によらず、運転音の大きさによって一義的に決まるので、製品から発生する運転音がより正確に表示されます。

音源が周囲に発する全音響エネルギーを測定するので、運転音の大きさにより一義的に決まる



「フロンラベル」の表示について。

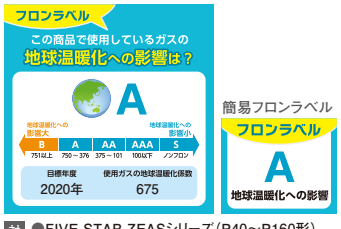
このラベルはフロン排出抑制法に基づく指定製品に使用されている冷媒フロンの環境影響度*(GWP)について、定められた目標への達成度を表したものです。製品を選択する時のご参考にしてください。店舗・事務所用エアコンは、出荷台数で加重平均した環境影響度*(GWP)の値が、目標年度において目標値(750)を上回らないことが、製造事業者等に義務付けられています。

使用するフロン類等の種類	GWP値
R32	675
R410A	2090

【冷媒について】
当社が指定する冷媒以外を封入することは、絶対に行なわないでください。封入冷媒の種類については、機器付属の取扱説明書あるいは機器本体の銘板に記載されています。それ以外の冷媒を封入した場合の誤作動・故障などの不具合や事故につきましては、当社としては一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

*地球温暖化係数のこと：二酸化炭素を基準とし、地球温暖化に与える影響を数値化したもので、値が大きいほど温暖化影響が強い。

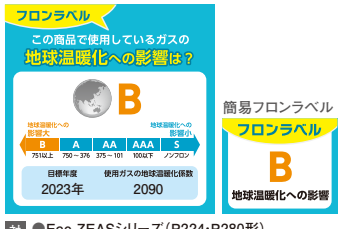
■R32冷媒使用機種ラベル



対象製品
- ●FIVE STAR ZEASシリーズ(P40～P160形)
- ●Eco-ZEASシリーズ(P40～P160形)
- ●スゴ暖ZEASシリーズ

(注)床置形・厨房用エアコンとの組合せは除く。

■R410A冷媒使用機種ラベル



対象製品
- ●Eco-ZEASシリーズ(P224・P280形)

(注)床置形・厨房用エアコンとの組合せは除く。

フロンラベル表示の除外製品について

下記製品はフロンラベル表示の指定製品から対象外となります。

- ●室内機が床置形および厨房用エアコンのもの
- ●マルチエアコン
- ●氷蓄熱式エアコン
- ●飲食物の衛生管理のための空気調和を目的とする製品

当社の主な除外製品

- ●FIVE STAR ZEASシリーズ：床置形・厨房用エアコンとの組合せ製品
- ●Eco-ZEASシリーズ：床置形・厨房用エアコンとの組合せ製品
- ●machiマルチ
- ●スゴ暖ZEASシリーズ：床置形・厨房用エアコンとの組合せ製品